

初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。教務課のホームページに掲載される「【重要】履修登録について (<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/classes/courseregistration/index.html>)」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第1週は、すべての初年次ゼミナール理科の授業を休講とする。ガイダンスは行わない。指定グループに属する授業のシラバス（今後も随時更新される可能性あり）を読み、UTASで抽選登録すること。

第2週は、ITC-LMSを介してサイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義を行う。ITC-LMSにログインした後、時間割の下に表示される「集中コース等」の中にある「初年次ゼミナール理科（総合）」コースに講義のPDFおよび動画へのリンクが掲載される。いずれかを用いて学習後、小テストとアンケートに回答すること。アンケートには、3週目から開始されるオンライン授業に対応した学習環境を整えられているかをたずねる設問が含まれる。

授業で用いられるビデオ会議システムやクラウドの利用法に関するオンライン講習会を複数回実施する。講習会スケジュールはITC-LMSで告知する。参加は必須ではないが、可能な場合は講習を受けて、使用感に慣れておくように。

第3週からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。決定された履修授業がいずれであるか、また授業への参加方法を**UTAS**で**必ず確認**すること。また別途情報が掲載されている可能性があるため、ITC-LMSの履修する授業のコースと、「初年次ゼミナール理科（総合）」コースの「お知らせ」を確認しておくこと。

授業ではビデオ会議システムに加えて、クラウドを利用したグループでの共同作業を行う場合が多いと予想される。『オンライン授業・Web会議 ポータルサイト @ 東京大学』からリンクされている『東京大学 ICT 活用ハンドブック（2019年度版）』（https://utelecon.github.io/oc/pdf/01_2019_ict.pdf）を熟読し、クラウドツールの利用法を理解しておくこと。

この授業の教科書として『科学の技法—東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト—』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

この授業に関する授業外サポートとして、上級生・大学院生が学習相談に応じる「ラーニングcommons」をオンラインで開く。開室時間や利用方法等については、ITC-LMSの「初年次ゼミナール理科（総合）」コースで通知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1年 理一(1-6,10,16,18-19), 理二三(4,7)
グループ 2	火 1・木 2	1年 理一(9,12,14,20,39), 理二三(6,8,15,20)
グループ 3	火 3・木 3	1年 理一(7-8,11,13,15,17), 理二三(9-10,14,19)
グループ 4	火 4・金 1	1年 理一(23,26,28-29,33,36-37), 理二三(12,16,24)
グループ 5	水 2・金 3	1年 理一(21,25,27,30-32), 理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ 6	水 3・金 4	1年 理一(22,24,34-35,38), 理二三(17-18,22-23)